

エアコンは全ての教室に必要です

職場要求アンケートにご協力ください

新学期も二ヶ月が過ぎました。

どうですか？今年のクラス、学年そして職員室は？

泉北教組では現在「職場要求アンケート」を回収中です。

それらに寄せられた要求等をもとに毎秋、教育委員会と交渉を行い、教育条件や勤務労働条件の改善に向け取り組んでいます。

今年も「職場要求アンケート」にご協力下さい。

エアコン故障していませんか？

本格的な梅雨となり、エアコンが欠かせない季節です。

教室のエアコン、故障していませんか？

昨年度高石市では、複数のエアコンに不具合が生じ、十分に機能しないことがありました。

泉北教組の要望への教育委員会の回答は次の通りです。

今回の空調設備の修繕は、修繕費で対応する。空調設備修繕については、教育委員会に要望をあげてほしい。

小・中学校の全普通教室へのエアコン導入が他市より早かった高石市。エアコンの耐久年数の期限が過ぎましたか？

音がクリアになりました

昨年度放送設備が改善した学校から届けられた声です。

「児童朝礼時、音がとぎれなくなりました。」とも述べられています。

備品ひとつにしても、使いやすい物がほしいです。

よせられた切実な要求

「19時退勤日」が作られたが、何の意味があるのかわからない。

今、42人学級です。教室が狭いです。ぜひ、36人以下にして下さい。

毎年流行するノロウイルスは、和式トイレで感染が拡大

します。いくら手洗いをしても効果がありません。ぜひ洋式化を進めて下さい。講師の身分保障をして下さい。

一校一人のフルタイムの学校図書館司書を配置して下さい。

職員数が減っているため様々な面でしわ寄せが来ている。増員を望みます。

「共謀罪」私はこう思う

反対



はるだ・こうじ 1937年生まれ。北海道警防犯部長などを歴任。2004年、道警の年金問題を実名で告発した。著書に「警察捜査の正体」。

を、次々と捜査に取り入れられてきた。全地球測位システム（GPS）捜査の

「監視社会がやって来る」として「共謀罪」法案を批判するのは、誤解があるのではないか。警察による市民監視の仕組

みは、もう構構が進んで

元北海道警釧路方面本部長 原田 宏二氏 (79)

監視社会さらに加速

いる。警察は、治安維持のためには多少のむちやばは許されると考えがちだ。防犯カメラの設置やDNA型のデータベース化など、法的な根拠がはっきりしない個人情報収集の「武断」となるだろう。

内容があまりに、警察の判断が入り込む余地が大きいからだ。適用対象の「テロリズム集団」は、指定暴力団の「ように名称や構成員数が公表されていない。どの団体が該当するかは、警察が判断することになる。団体に属する人は、一見して一般市民と同じように暮らしているはずだ。結局、一般市民を含む大勢の人々が監視対象になる。

要件の「実行準備行為」も分かっていない。資金の手配や関係場所の下見を、一般市民の日常的な営みとどう区別するか。供述録みで捜査するならば、冤罪の温床だ。「共謀罪」の法制化は、警察の市民監視に拍車をかけ、警察の権限を強めることにもつながるだろう。にもかかわらず、組織犯罪やテロ事件を根絶できるわけではない。このまま進んでいる法案とは思えない。

【「毎日新聞」6月10日号より転載】